

作成日 2024年12月
氏名 浅沼靖子
所属 代表取締役

活動報告書

活動名	ビンコーインターナショナル株式会社2024年活動報告書
活動目的	当社は、途上国の保健医療セクター開発を推進するため、以下の領域において具体的な成果を上げることを目指した。
活動概要	保健医療、教育分野の機材整備計画の策定 医療機器メーカー、施設設計・施工会社、保健医療専門家（医師、看護師、保健師）及び被援助国施主との協力のもと、主に以下の国で保健医療サービス向上に資する活動を実施した。
活動内容	2024年 <u>イラン・イスラム共和国テヘラン市医療機材整備計画</u> 機材の据付監理(1月.12月) 2024年2月 <u>パキスタン国ハイバル・パフトゥンハー州母子保健医療サービス機能強化にかかる情報収集・確認調査</u> 調査業務を完了して、準備調査報告書を提出 2024年4月 <u>サモア国サモア国立大学保健科学学部施設整備計画</u> 詳細設計調査を実施 2024年5月 <u>セネガル国ティエス州地域中核病院拡充計画</u> 調査業務を完了して、準備調査報告書を提出 2024年7月 <u>パキスタン国ハイバル・パフトゥンハー州洪水被災地及び周辺地域における母子保健機材整備計画準備調査</u> 調査業務を完了して、準備調査報告書を提出 2024年 <u>ザンビア国コッパーベルト州における保健センターの郡病院への改善計画</u> 据付監理
課題・改善	以下は、事業活動における主な課題点である。 ・課題点 業者の調達監理業務を若手コンサルタントのさらなる育成を図る必要がある。 円安による調達コスト値上げにより入札不調のリスクが高まっており、積算の精度向上が必要である。 高齢化や再生医療分野等、新規領域に取り組む。
今後の予定	今後は技術協力事業においても事業実施の経験を積み、ハードとソフト両面に精通したコンサルタントとして、事業の計画及び実施ができる企業への成長を目指している。

作成日 2023年12月
氏名 浅沼靖子
所属 代表取締役

活動報告書

活動名	ピンコーインターナショナル株式会社2023年活動報告書
活動目的	当社は、途上国の保健医療セクター開発を推進するため、以下の領域において具体的な成果を上げることを目指した。
活動概要	保健医療、教育分野の機材整備計画の策定 医療機器メーカー、施設設計・施工会社、保健医療専門家（医師、看護師、保健師）及び被援助国施主との協力のもと、主に以下の国で保健医療サービス向上に資する活動を実施
活動内容	2023年1月 <u>イラン・イスラム共和国テヘラン市医療機材整備計画</u> 供給業者契約の締結 2023年5月 <u>パキスタン国ハイバル・パフトゥンハー州洪水被災地及び周辺地域における母子保健機材整備計画準備調査</u> 概略設計調査を実施 2024年6月 <u>ソロモン国キルフィ病院整備計画</u> 詳細設計調査を実施 2023年8～12月 <u>パキスタン国ハイバル・パフトゥンハー州母子保健医療サービス機能強化にかかる情報収集・確認調査</u> パイロット活動を実施及び施主への活動報告 2023年12月 <u>ザンビア国コッパーベルト州における保健センターの郡病院への改善計画</u> 入札を実施、機材供給業者契約を締結
課題・改善	以下は、事業活動における主な課題点である。 ・課題点 業者の調達監理業務を若手コンサルタントのさらなる育成を図る必要がある。 円安による調達コスト値上げにより入札不調のリスクが高まっており、積算の精度向上が必要である。
今後の予定	今後は技術協力事業においても事業実施の経験を積み、ハードとソフト両面に精通したコンサルタントとして、事業の計画及び実施ができる企業への成長を目指している。

業 務 名	パキスタン国ハイバル・パフトウンハー州 洪水被害にかかる母子保健機材復旧計画準備調査（QCBS）
国 名	パキスタン・イスラム共和国
発 注 者 名	独立行政法人国際協力機構
発注の種類	元請
契 約 金 額	64,318,488 円
契 約 期 間	(概略設計) 2023 年5 月10 日から 2024 年9 月30 日 (実施設計) 2024 年 11 月～

業 務 内 容

(1)業務の背景

パキスタンは 2022 年の洪水発生以前より母子保健(MCH)指標が世界最低水準の国の一つである。KP 州の MCH 指標は、施設分娩率が 61.8%で、パンジャブ州(68.9%)やシンド州(71.8%)に比べて低く、熟練した医療従事者の分娩介助も KP 州は 67.4%と全国の 69.3%を下回っていることから、MCH サービスの改善が喫緊の課題となっている。

KP 州において、洪水被害後は、1 次医療施設へのアクセスの低下や、施設や機材の損壊によるサービスの質の低下に伴い、同じ県内あるいは近隣県も含めた 2 次医療施設への患者の集中も起こっている。2 次医療施設においては、特に 1 次レベルでは対応できない症例への対応が重要な役割となり、包括的な緊急産科・新生児ケアを提供する設備・資機材が必要となっている。2 次の上位に位置する 3 次医療施設においても、2 次医療施設の対応能力を上回る来院により溢れた患者が 3 次を受診せざるを得ない状況となり、対応すべき分娩数や帝王切開数が増加、設備・機材が不足する状態となっている。

(2)業務の内容

対象地域における医療機材及びその運用に必要な設備の整備計画の策定

- ・調査対象施設: KP 州ハザラ地区(トルガー県を除く 7 県:ハリプール県、アボタバード県、マンセラ県、バタグラム県、コライパラス県、南コヒスタン県と北コヒスタン県)にある医療施設
- ・整備対象機材: 母子保健サービス提供に必須な医療機材、付帯設備(ソーラーパネル、無停電電源装置、自動電圧調整器など)

(3)本件の成果品

- ・現地調査結果概要: 現地調査の結果導き出された協力の方向性(整備計画機材とその数量)に関する報告。
- ・準備調査報告書: 現地の概況、設計方針に基づく整備計画機材の内容、設置が必要な機材の設置図など、実施される協力コンポーネントに関する取り纏め。

業 務 名	パキスタン国ハイバル・パフトウンハー州 母子保健医療サービス機能強化にかかる情報収集・確認調査
国 名	パキスタン・イスラム共和国
発 注 者 名	独立行政法人国際協力機構
発注の種類	元請
契 約 金 額	47,483,700 円
契 約 期 間	2022 年 10 月 11 日～2023 年 10 月 30 日
業 務 内 容	

(1) 業務の背景

パキスタン国は母子保健指標が世界最低水準の一つである。その中でも急峻な山間地域が多く、人口の約八割が農村部に居住するハイバル・パフトウンハー州(KP 州)ではアフガニスタン難民の流入・内戦・自然災害の影響もあり、開発が遅れている。KP 州での母子保健医療サービスの提供においては、二次医療施設にて正常分娩、帝王切開等の基礎的な産科ケアの提供を目指しているものの、実際は施設・医療機材の老朽化や医療機器の不足により、一次医療施設からリファーされた患者へ適切な保健サービスを提供できていない現状である。

そうした状況に鑑み、同州においてとりわけ妊産婦死亡率・乳幼児死亡率が高いマンセラ県の二次医療施設に母子保健分野の医療機材を導入するパイロット事業を策定する。またパイロット事業の検証を通じて、今後の同州における母子保健サービスの向上を目指すプロジェクトの設計に繋げることを目的とする。

(2) 業務の内容

二次医療施設に勤務する医療スタッフに対する技術向上に向けたパイロット活動の実施

・パイロット事業対象施設:

二次医療施設: マンセラ DHQ、タイプ D バッファ病院、一次医療施設: RHC シンキアリ

・供与機材: 超音波診断装置、分娩監視装置、血球カウンター、ヘモグロビンメーター、胎児ドップラー、卓上滅菌器 他

(3) 本件の成果品

・ベースライン調査報告書: マンセラ県の母子保健サービス提供の課題を分析、パイロット事業の指導内容及び対象施設の選定プロセスを記載。

・パイロット活動報告書: 80 日間にわたるパイロット活動の記録を記した報告書。研修実施前と実施後での医療従事者の臨床実技、臨床知識の向上の詳細を記述。

・ファイナルレポート: 情報収集確認調査を通じて得られた母子保健サービス提供上の課題の総括。他の技術協力プロジェクトに対する提言の取り纏め。